

「生存科学への期待」

日時: 2025年

1月11日(土)

14:00~17:00

オンライン開催
参加費 無料

どなたでも参加できます

生存科学研究所は、元日本医師会会長 武見太郎先生の遺志により創立されてから40年が経ちました。それを記念してのシンポジウムでは、人類の「生存」問題は自然科学・社会科学・人文科学という区別を止揚して、総合的に取り組まなければならないという武見先生の「総合的生存学」理念を引き継ぎ、これまで採り上げることの少なかった領域から、生存学への新たな視点を論じていただきます。

司会：副理事長 丸井英二
理事 安梅勅江

プログラム

- 14:00~14:15 開会の挨拶とシンポジウムの趣旨説明
生存科学研究所理事長(東京大学名誉教授) 松下 正明
- 14:15~14:45 誰の生存?—生命の選別
東京大学名誉教授 村上 陽一郎
- 14:45~15:15 工学倫理の展開と「生存」科学
物質・材料研究機構 名誉研究員 長井 寿
- 15:15~15:45 認知症や障害とともに生きる高齢者の社会的支援と倫理
東京都健康長寿医療センター認知症未来社会創造センター センター長 栗田 圭一
- 15:45~16:15 人類生態学と生存科学:発展の経緯と今後の展望
長崎大学大学院・熱帯医学・グローバルヘルス研究科教授 門司 和彦
- 16:15~16:25 休憩
- 16:25~16:55 パネルディスカッション
- 16:55~17:00 閉会の挨拶
生存科学研究所副理事長(人間総合科学大学大学院教授) 丸井 英二

申し込み
フォーム

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_s1eONaoyRdu434WHDbjQIA

